

高知県の地震

目 次

高知県の地震活動	
震央分布図及び断面図	1
地震概況	1
高知県で震度1以上を観測した地震と各地の震度	2
高知県で震度1以上を観測した地震の震度分布図	3
地震一口メモ	
「高知県の地震」の見方について	4

※「高知県の地震」は月1回発行するもので、高知県及びその周辺の地震活動状況をお知らせすると共に、適宜、社会的に関心の高い地震について解説します。また、「地震一口メモ」で地震防災知識等の普及に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査された後に修正されることがあります。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

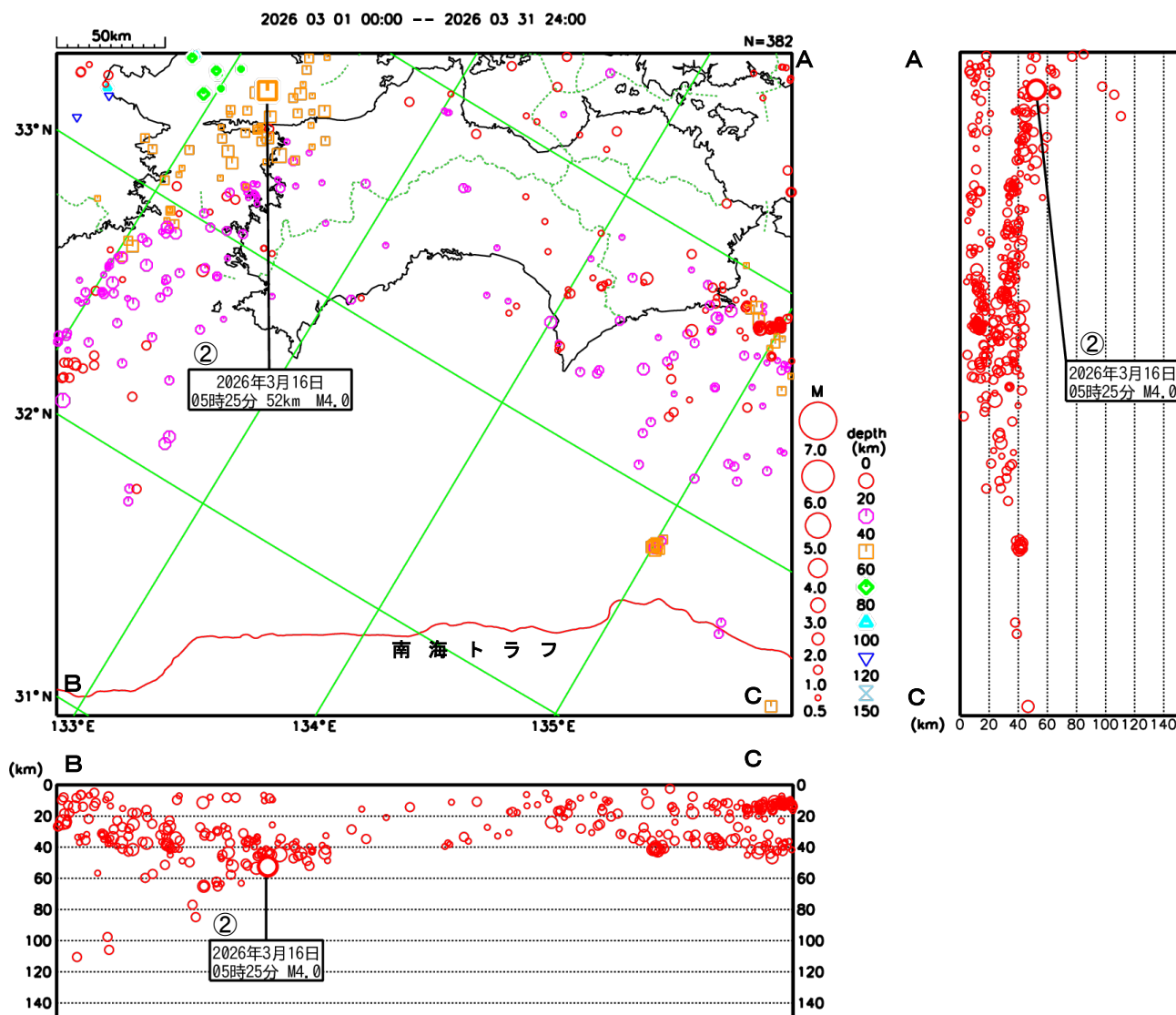
2026年(令和8年)3月

高 知 地 方 気 象 台

高知県の地震活動

「震央分布図及び断面図」

(2026年3月1日～3月31日)



震央分布図では、地震の規模を示すマグニチュード(M)はシンボルの大きさで表しています。震源の深さはシンボルの形と色を深さに応じて変えて表しています。右上の「N」は図中に表示しているシンボルの数(地震の回数)、右の「depth」は地震の深さの凡例を示しています。

断面図(右図及び下図)は、震央分布図範囲内の地震の北北西-南南東(A-C)方向断面図(右)と西南西-東北東(B-C)方向断面図(下)を表し、それぞれの地震の震源の垂直分布を表しています。

「地震概況」

2026年(令和8年)3月に、高知県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回でした(前月は3回)。

1日18時00分、薩摩半島西方沖の地震(深さ124km、M5.4、震央分布図外①)により、宿毛市・高知市で震度2を観測したほか、県内の広い範囲で震度1を観測しました。また、宮崎県・鹿児島県で震度3を観測したほか、近畿から九州地方にかけて震度2～1を観測しました。

16日05時25分、伊予灘の地震(深さ52km、M4.0、震央分布図②)により、宿毛市で震度1を観測しました。また、愛媛県で震度3を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度2～1を観測しました。

注) 地震概況にある数字は、「震央分布図」、「地震の表」及び「震度分布図」の番号に対応しています。

「高知県で震度 1 以上を観測した地震と各地の震度」

2026 年 3 月

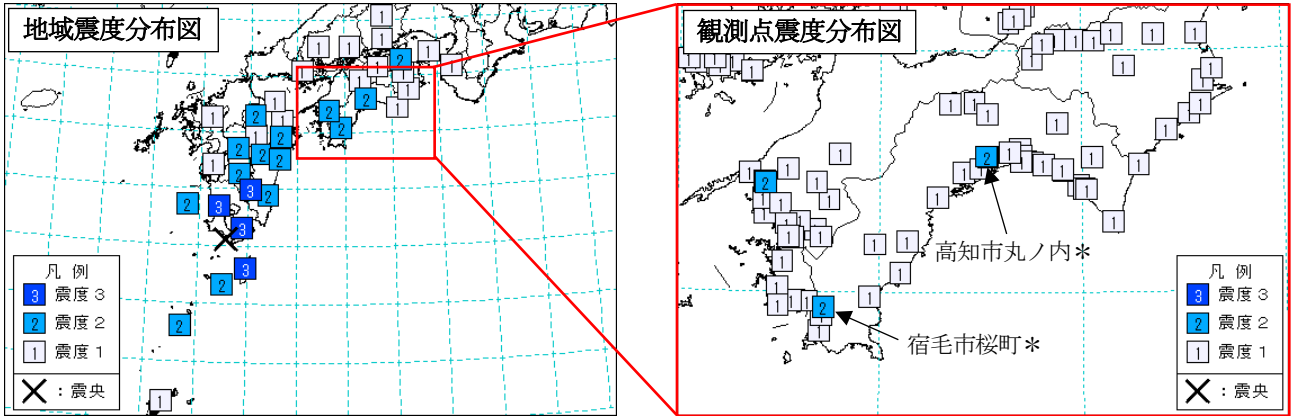
発震時刻 (年月日時分) 各地の震度 (高知県内のみ掲載)	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
① 2026 年 03 月 01 日 18 時 00 分 高知県	薩摩半島西方沖	31° 07.1' N	130° 33.7' E	124km	M5.4
震度 2 : 高知市丸ノ内*, 宿毛市桜町*					
震度 1 : 室戸市浮津*, 安芸市西浜, 安芸市矢ノ丸*, 東洋町生見*, 奈半利町役場*, 田野町役場*, 安田町安田*, 馬路村馬路*, 芸西村和食*, 高知市本町, 高知市春野町芳原, 南国市オオソネ*, 土佐市蓮池*, 須崎市西糺町*, 土佐町土居*, 大川村小松*, いの町脇ノ山*, 高知香南市吉川町吉原*, 高知香南市夜須町坪井*, 高知香南市赤岡支所*, 高知香南市野市町西野*, 香美市土佐山田町岩積*, 香美市物部町大栃*, 宿毛市小筑紫町田ノ浦, 大月町弘見*, 四万十市古津賀*, 四万十町大正*, 四万十町琴平町*, 黒潮町佐賀*					
② 2026 年 03 月 16 日 05 時 25 分 高知県	伊予灘	33° 36.0' N	132° 12.5' E	52km	M4.0
震度 1 : 宿毛市桜町*					

注) 観測点名の*印は、気象庁以外 (高知県または国立研究開発法人防災科学技術研究所) の震度観測点です。

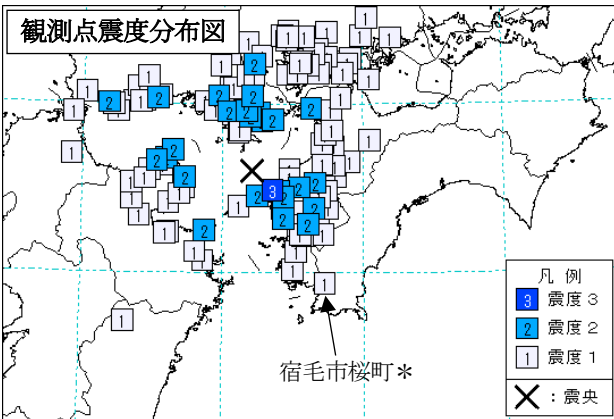
「高知県で震度1以上を観測した地震の震度分布図」

2026年3月

① 2026年03月01日18時00分 薩摩半島西方沖 深さ124km M5.4



② 2026年03月16日05時25分 伊予灘 深さ52km M4.0



注) 観測点震度分布図には、県内で最も大きい震度を観測した観測点名を記載しています。
 観測点の*印は、気象庁以外(高知県または国立研究開発法人防災科学技術研究所)の震度観測点です。

「地震一口メモ」

「高知県の地震」の見方について

ご覧いただいている「高知県の地震」は、高知県及びその周辺の毎月の地震活動状況をまとめた資料です。毎月月中旬頃に、発行月の前月に発生した地震を対象に最新号を発行し、最新号から過去一年分までを、高知地方気象台ホームページで公開しています。各号には、対象月に発生した地震について、「震央分布図及び断面図」、「地震概況」、「高知県で震度1以上を観測した地震の表及び震度分布図」等の項目を掲載し、対象月の地震活動が把握できるようになっています。また、資料の最後には、地震・津波に関する有用な情報を「地震一口メモ」として掲載することがあります。今月の「地震一口メモ」では、人の異動が多い時期ということもあり、初めて「高知県の地震」をご覧になる方向けに、「高知県の地震」の見方についてご説明します。

【震央分布図】

震央とは、震源（岩盤のずれ運動である地震で、そのずれ運動が始まった点）の真上にあたる地表の点のことで、地図上に震央を表示した図を震央分布図といいます（下図左上）。図中の記号の位置で震央の「緯度・経度」を、記号の大きさで「地震の規模（マグニチュード：以下「M」という。）」を、記号の色・形で「震源の深さ」をそれぞれ表現しています。この図から地震の震源の空間的な分布が読み取れます。

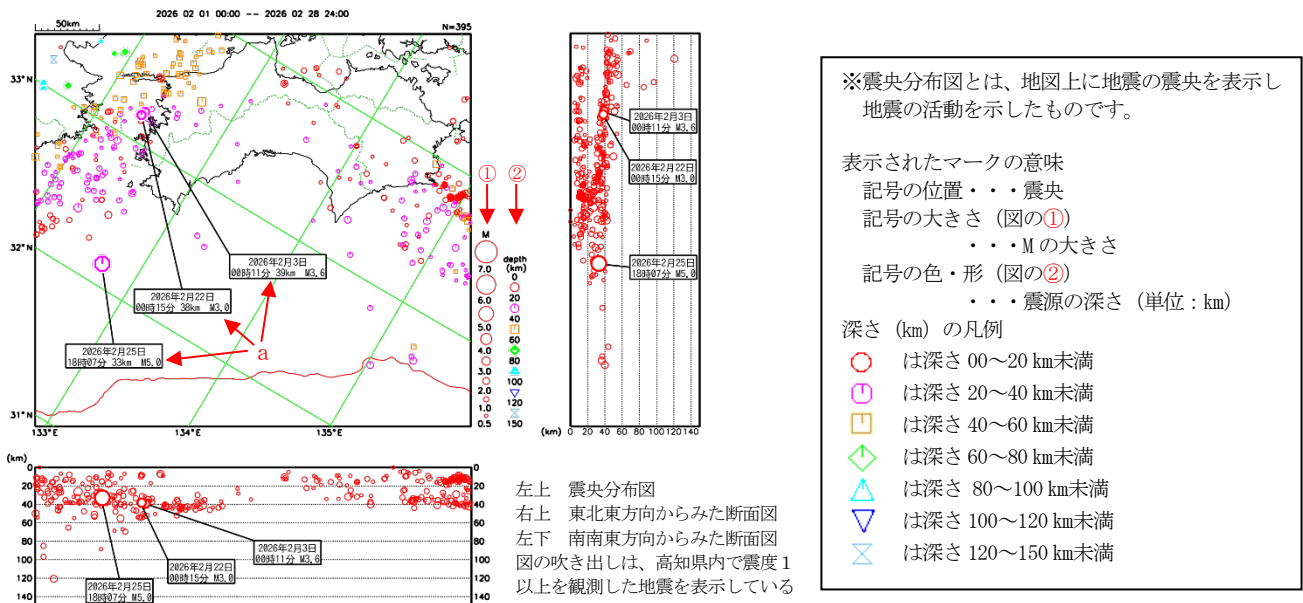


図 震央分布図及び断面図（2026年2月の例）

【断面図】

震央分布図で表示した範囲の地震の震源を鉛直断面に投影した図を断面図といい、震源の深さ分布を見ることができます（上図右上及び左下）。断面図では、記号の色・形は同一（赤丸）とし、その大きさでMを表しています。震央分布図と断面図を対で表示することで、震源の空間的な分布を把握しやすくなります。

【地震概況】

高知県内で震度1以上を観測した地震や注目した地震について説明しています。それらの地震の震源が震央分布図及び断面図内にあれば、上図左上 a で示すように吹き出しで発生時、深さ、M等を強調表示します。

【高知県で震度1以上を観測した地震の表及び震度分布図】

地震の表は、高知県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震の一覧表です。地震が発生した時刻、震央地名、震源の緯度・経度、深さ、M及び観測された震度と観測地点名を記載しています。

震度分布図は、高知県内で震度1以上を観測した地震の震度を地図上に表示した図です。

【地震一口メモ】

地震や津波等に関する知識や、気象庁で行っている業務を紹介したりします。気象庁が発表する地震、津波の情報に変更があった場合は、その内容について解説し、お知らせすることもあります。